

～ 最期まで自分らしく笑顔で過ごせる島を目指して ～

8月から11月の期間中に、島内外での各種研修会が数多く開催されました。島内での多職種を対象とした研修会は、毎回多くの参加があり、チームケアへの意識が高まっているとともに、研修を重ねるごとに、顔の見える関係づくりが一歩いっぽ進んでいます。県人材育成事業を中心に内容を紹介します。



「お口のケアで予防しよう誤嚥性肺炎！」
平成27年8月26日(水) 18:00～20:00
ホテルニューにしだ2F



霧島リハビリテーションセンターの摂食・嚥下障害認定看護師の鈴木真由美副看護師長及び2名のインストラクターより講義及び口腔ケアの実技を行いました。

受講者申し込みが160名！となり急きょ会場を変更しての開催。口腔ケアに関する現場での関心の高さがうかがえました。

島内から看護、介護職をはじめ歯科医師・歯科衛生士やリハ職の参加もあり、ケア現場で求められている口腔ケアに関して共通理解を持つ場ともなりました。参加していただいた歯科医師、衛生士さんには当日、急きょ実技指導の補助をお願いし、快く協力していただきました。

A病院では「さっそく研修の翌日から看護職員で口腔ケアを実践しています！」との声があり、改めて口腔ケアの大事さについて意識づけ・実践につながる機会となりました。

<研修会一覧>

- 8月21日(金)
栄養管理(県医師会中継研修)
- ★8月26日(水)
口腔ケア研修会(県人材育成事業)
- 8月28日(金)
川越正平先生講演(県医師会中継研修)
- 9月22日～23日
在宅ホスピス全国大会in奄美
- 9月29日(火)
推進事業活動報告(県医師会中継研修)
- 9月30日(水)
堀田聡子先生講演(県医師会中継研修)
- 10月1日2日
全国介護保険サミットin日置
- 10月27日(火)
瀬戸裕司先生講演(県医師会中継研修)
- ★10月30日(金)
多職種事例検討会(県人材育成事業)
- 10月31日(土)
看護倫理研修(県人材育成事業)
- 11月18日(水)
藤井昌彦先生講演(県医師会中継研修)
- ★11月27日(金)
認知症看護・ケア(県人材育成事業)
- 11月28日(土)
介護支援専門員協議会研修

「多職種事例検討会」平成27年10月30日(金)18:00~20:00ホテルニューにしだ2F
～がんターミナル期の在宅支援を多職種で考える～

講師：鹿児島大学付属病院 副看護部長 田畑千穂子氏・満留 真由美師長

看護・介護職をはじめ、MSW, リハ職など72名が参加。

昨年に引き続き、事例をもとにして在宅支援についてグループワークで学びを深めていきました。徳洲会訪問看護からの事例提供の後、事例の課題を中心として「在宅で過ごしたいという夫の願いを叶えるためどう家族を支えるか」をテーマにそれぞれの職種ができること、多職種のかかわりで支える力について検討しました。



〈参加者アンケートより〉

- ・多職種、家族との連携と探ればまだまだできる事がある事を学んだ(看)
- ・いろいろな所属の方と意見を出し合い、考え方の違いに気づいた(看)
- ・在宅での看取りについて再度、スタッフみんなとの連携や家族へのサポートの大切さが分かり、学ぶことが出来た。今後も家で看取りたいという方がいらっしゃったら全力でサポートしていきたい(看)
- ・徳之島の在宅医療ますます頑張らなきゃ「チーム医療大切」と改めて感じた(看)
- ・日頃、業務に追われ見落としがちな利用者様の想い、家族の想いについてもっと深く心を寄せていかなければと思った(看)
- ・施設入所であってもどのような最期を迎えたいか意向を確認して、その思いに寄り添える支援をしていきたい。
- ・ターミナル期の方々の実例を聞いて、どうその人たちが穏やかに日々を過ごせるのか学びが広がった。この学びを今後に生かしていきたい(看)
- ・前回も参加させて頂きました。前回の事例の方が良い方向へ進んだことが知れてうれしかった。是非今回の事例の方についてもどこかで報告があればいいと思う。

「認知症疾患看護・ケア」

平成27年11月27日(金)18:00~20:00徳之島保健所

講師：鹿大精神科病棟副看護師長 永川 恵子氏

救急部看護師 益満 美香氏

認知症疾患を背景とした「本人の体験していること」に目を向け、ひとつひとつ、丁寧な対応や説明をしていくことなど、ケアの基本を忘れずにかかわること。生活の継続性や退院・社会復帰を視野に入れたケアを。

わかっているようで、日々の業務で「しまった！」と思うことや、「この時の対応は？」困ったことなど、再度ケアの振り返りをする機会となりました。

「**認知症の人の行動は援助者の鏡**」という言葉に肝に命じ、病院や施設、在宅の現場で看護職・ケアスタッフなどかかわるすべての人で、本人を中心とした尊厳のあるケアができるようにしたいものです。



<島外の研修会参加報告>
平成27年9月21日～23日
「在宅ホスピス協会全国大会in奄美」

島内からも各病院関係者が多数参加し、学びを深めるとともに、「徳之島でもやれていることもたくさんある！」と自分たちの実践も決して引けをとらない活動であるということ「ますます頑張りたい！」との声が聴かれました。



◆めぐみ在宅クリニックの小澤竹俊先生による特別講座「人生の最終段階に対応できる人材育成」では、スターミナル期を迎えた方にどのように関わり援助をしていくか、分かりやすく実践的に学びました。

①相手の苦しみについてキャッチする

②相手の支えについてキャッチする

③どのような私たちであれば、相手の支えを強めることができるのかを知り実践する

④支えようとする私たちの支えを知る

・相手を理解しようとする事、ではなく、「**相手が『自分を理解してくれた』と感じてもらえること**」が大事・・・聴くこと、相手の言葉の反復・受け止め、寄り添うこと。

参加した方々が、また各病院等で具体的に伝えていけると良いですね。また島内でも具体的な支援や対応など、看護・介護職が学ぶ機会を持てるようにしていきたいものです。

島内のリハ職がみんなで企画してくれました！

介護支援専門員協議会研修会

平成27年11月28日(土)18:00～20:00 文化会館会議室



◆いつになく（若い）男性陣の姿が目立つ研修会場(^_^) 第2回の介護支援専門員研修会は、初めての試みとして、島内のリハ職が集まり、企画運営を担って開催されました。

ケアプランと個別支援計画書の連動性、またリハ職等専門職の視点を活かしてチームケアをどのように実践していくか。

グループワークを行う中で、視点の違いや専門的な評価を活かした具体的な生活目標の設定と取組みなど、お互いに学びと理解を深める場となりました。

P Tさんからは「次はこんな企画を…」との声。

リハ職の熱い想いを受けて、多職種チームで取り組むことで、より良い支援体制づくりにつながることを実感でき、ケアマネジャーとしてはますますチームケアの実践！医療との連携！を重視しケアマネジメントの実践力をつけていかなければ！！と感じさせられました。

徳之島地区 認知症施策推進事業が始まります！ ～認知症になっても、住み慣れた地域で自分らしく暮らせる地域づくり～



認知症疾患医療センター
谷山病院 副センター長
黒野 明日嗣先生

平成27年12月19日(土)14:00～16:00社会福祉協
議会にて研修会を開催

改正介護保険法にて、新たに「認知症施策推進事業」が市町村
事業として実施が義務づけられることになりました。徳之島3町
では、連携して事業を実施できる体制を作っていくこととなり、今
年度より事業を開始いたします。

新たな事業実施に伴い、島内での共通理解をはかり効果的に
事業展開ができるようにと研修会＆検討会を開催します。

当地区の初期集中支援チームには、島内に専門医が不在とい
うことから、鹿児島における認知症医療・ケアの第一人者である
黒野先生が加わってくれることになり、心強い！チーム体制とな
りました。

今後、チーム員の学び、医療やケア等関係者の研修等も積み
重ねながら、島内での「サポート医」が増え、さらに支援関係者
の対応力向上など、医療・介護・地域のより良い連携で「認知症
になっても安心して暮らせる地域づくり」につなげていきたいと思
います。

～安心して暮らせる地域づくりが大事～

徳之島警察署からの要請を受け開催された認知症サポー
ター講座



財布がないよ！盗られ
た！！おまわりさんどう
する？



徳之島町社会福祉協議会が
毎年各地区で開催している

「徘徊模擬訓練」どの地区でも子どもから高齢者まで大勢の参加があります



【編集後記】

8月から11月にかけて、昨年もお世話になった県の人材育成事業により鹿児島大学病院の看護士さんに来島いただき、各種テーマでの研修会及び多職種の事例検討会を開催しました。県事業としては今年度で終了ですが、田畑副看護部長さんをはじめとしたつながりができ、今後とも島の看護職・ケアスタッフ等の多職種連携・チームケアの推進、質の向上のためにご支援いただきたいと思います。

また、認知症ケアに関わる講演や研修会も多く開催されました。認知症になっても、人生を楽しめる、幸せを感じて穏やかに暮らしていくことができることを目指し、地域づくりも含めて事業展開をしていきたいものです。

【事務局：徳之島町地域包括支援センター】